

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	独立行政法人国立科学博物館 施設整備に必要な経費		担当部局庁	生涯学習政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	社会教育課		社会教育課長 伊藤 学司		
会計区分	一般会計		施策名	I-2 生涯を通じた学習機会の拡大				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	独立行政法人通則法第46条		関係する計画、 通知等	生物多様性国家戦略(平成22年3月16日閣議決定) 科学技術基本計画(平成18年3月28日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	独立行政法人国立科学博物館の設置する博物館施設の整備充実を図るため、独立行政法人国立科学博物館が行う博物館施設の整備に要する経費に対して補助を行い、もって自然科学及び社会教育の振興を図る。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	オープン以来13年が経過した地球館I期展示について、地球環境問題、生物多様性など社会的に関心の高いテーマに関する展示を更新するとともに、幼児などを含む家族連れが安心して博物館を楽しむことができるスペースを整備し、国立科学博物館を訪れる幅広い年齢層の人々が楽しみながら科学に親しむことのできる拠点を構築する。また、併せて、東京都、周辺地区や観光業界と連携し国立科学博物館の魅力を国内外に発信し、観光客の流れを創出することにより、国立科学博物館周辺地域の活性化を図る。改修箇所は3フロアであり、地上3階「たんけん広場A発見の森」を「親子のコミュニケーションを軸とした新コンセプトの対話型展示室」に、地上2階「たんけん広場B身近な科学」を「現代の科学技術の進歩と自然・環境のかかわりに関する展示室」に、地上1階「海洋生物の多様性に関する展示」を「地球環境と生物多様性に関する展示室」に改修する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予 算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	797	
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	-	-	-	-	797	
	執行額	-	-	-	-			
執行率(%)	-	-	-	-				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)	
	入館者数	成果実績					23~27年度までの 5年間で650万 人	
		達成度	%					
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	展示改修を行う箇所(フロア)数	活動実績 (当初見込み)					※25年度活動 見込みである (3箇所)	
単位当たり コスト	266百万円(円/箇所(フロア))		算出根拠	予算要求額 797百万円 / 3件				
平成24・25年度 予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	設計・監理料		45.1百万円					
	展示改修費		752.0百万円					
	計		797.1百万円	※要求額のうち重点要求797.1百万円				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、「地球環境問題、生物多様性」という地球規模の今日的課題について、社会に向けて理解認識を深める上で優先度が高い必要な事業である。また、公共上の見地から確実に実施されることが必要な事業であり、国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定については、一般競争入札により競争性を確保するとともに、単位あたりのコストの削減に努めていく。また、各費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されている。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	国内唯一の科学系・自然史系博物館である国立科学博物館の展示機能、来館者サービスに関する設備を充実する事業であり、他の手段と比較して実効性の高い手段である。また、改修内容については地球館Ⅰ期展示改修にかかる調査研究を踏まえ、適切な成果目標を立て行われ、達成度の向上を図ることになっている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本事業は、オープン以来13年が経過し、展示の経年劣化が進む地球館Ⅰ期展示について、地球環境問題、生物多様性など社会的に関心の高いテーマに関する展示を更新することで、地球規模の今日的課題に関して、その危機的現状や社会的意義、保全活動について、社会の理解、認識を深めるものであり、事業目的にかなうものである。併せて幼児などを含む家族連れが安心して博物館を楽しむことができるスペースを整備し、幅広い年齢層の人々が楽しみながら科学に親しむことのできる拠点を構築することや、観光客の流れを創出し、地域の活性化を図ることは、広く国民のニーズに応えるものである。なお、自然科学及び社会教育の振興を図る本事業は、文部科学省の責務である。		
予算監視・効率化チームの所見			
<p>本事業は、事業の成果目標等も立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることから、当省の事業として実施することが必要と認められる。</p>			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性国家戦略 http://www.env.go.jp/press/file_view.php?serial=15315&hou_id=12273 ・科学技術基本計画 http://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/kihon/06032816/001.htm 			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0044	平成23年行政事業レビュー	—

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文部科学省
797百万円

事業概要

オープン以来13年が経過した地球館Ⅰ期展示について、地球環境問題、生物多様性など社会的に関心の高いテーマに関する展示を更新するとともに、幼児などを含む家族連れが安心して博物館を楽しむことができるスペースを整備し、国立科学博物館を訪れる幅広い年齢層の人々が楽しみながら科学に親しむことのできる拠点を構築する。また、併せて、東京都、周辺地区や観光業界と連携し国立科学博物館の魅力を国内外に発信し、観光客の流れを創出することにより、国立科学博物館周辺地域の活性化を図る。

↓
[交付]

(A)
(独)国立科学博物館
797百万円

(B)
施設整備費補助金
(地球館Ⅰ期展示改修工事)
797百万円

地球館Ⅰ期展示の改修等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

(A) 独立行政法人国立科学博物館			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
施設整備費	地球館 I 期展示改修	797			
計		797	計		0
(B) 施設整備費補助金(地球館 I 期展示改修)			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
施設整備費	地球館 I 期展示改修	797			
計		797	計		0
(C)			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		0
(D)			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)